

『機械職 総まとめ講座 熱力学』(KU12273) 訂正表

2016年03月16日現在

ページ	訂正箇所	訂正内容		掲載日
		誤	正	
P. 14	[解答4] 3行目	また、外部に <u>200kJ</u> の熱を放出したので、	また、外部に <u>300kJ</u> の熱を放出したので、	2016/3/16
P. 16	5行目	以下の式で定義される <u>エンタルピー</u>	以下の式で定義される <u>エンタルピー</u>	2016/3/16
P. 18	11行目	上式より内部 <u>エネルギー</u> 、 <u>エンタルピー</u> は比熱を用いて次式で表される	上式より内部 <u>エネルギー</u> 、 <u>エンタルピー</u> は比熱を用いて次式で表される	2016/3/16
P. 26~ P. 48	全般	「内部エネルギー」表記と「内部エネルギー」表記がある。	第2章までが「内部エネルギー」となっているので、第3章以降も「内部エネルギー」で統一。	2016/3/16
P. 31	[解答7] 1行目	まず、AとBの温度が T_1 のときのAとBにおける状態方程式は	まず、AとBの温度が T_0 のときのAとBにおける状態方程式は	2016/3/16
P. 47	[解答19] 1行目	乾き度が <u>0.40</u> の湿り蒸気 1kg の容積は、 $v = v''x$ より、	乾き度が <u>0.50</u> の湿り蒸気 1kg の容積は、 $v = v''x$ より、	2016/3/16
P. 59	[例題5] 3行目	比 $\frac{\eta_1}{\eta_2}$ として最も妥当なのはどれか。	比 $\frac{\eta_1}{\eta_2}$ を求めよ。	2016/3/16
P. 61	[解答8] 最終行	$P = \eta \cdot Q_H \doteq 0.33$ [kJ/h]	$P = \eta \cdot Q_H \doteq 0.666 \times 5 \doteq 0.33$ [kJ/h]	2016/3/16
P. 66	5行目	第4節 オットーサイクル	第4節 オットーサイクル <u>(定容サイクル)</u>	2016/3/16
P. 66	6行目	定積変化と2つの断熱変化からなるサイクルをオットーサイクルとよぶ。	定積変化と2つの断熱変化からなるサイクルを <u>定容サイクル</u> 、またはオットーサイクルとよぶ。	2016/3/16
P. 67	1行目	第5節 ディーゼルサイクル	第5節 ディーゼルサイクル <u>(定圧サイクル)</u>	2016/3/16
P. 67	2行目	定圧圧縮と2つの断熱変化からなるサイクルをディーゼルサイクルとよぶ。	定圧圧縮と2つの断熱変化からなるサイクルを <u>定圧サイクル</u> 、またはディーゼルサイクルとよぶ。	2016/3/16
P. 71	解答16 3行目	いため、このサイクルは <u>等容</u> サイクルとも呼ばれている。	いため、このサイクルは <u>定容</u> サイクルとも呼ばれている。	2016/3/16

※「掲載日」は、上掲訂正情報がLECホームページの『公務員 テキスト改訂・修正情報一覧』(<http://www.lec-jp.com/koumuin/kaitei>)に掲載された日付です。